

■知的障害のある子どもたちへの実践事例

都立水元特別支援学校での さまざまな場面での活用の一例

東京都立水元特別支援学校
河野 聡美

はじめに

本校は、知的障害のある小学部1年から中学部3年までの児童・生徒が在籍する特別支援学校です。今年度からマルチメディアDAISY図書を学習や日常生活の場面で導入し始めました。小学部2年生の学級における活用例を紹介します。

活用実態と様子や効果

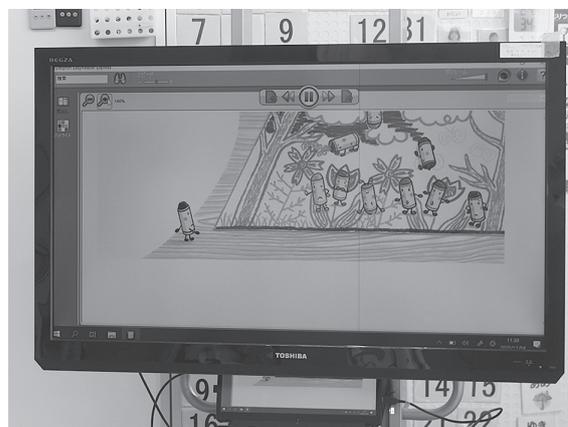
(1) 子どもの実態

知的障害のある小学部2年生の6人が在籍する学級です。自閉症や、ダウン症など、さまざまな実態の子どもたちが在籍しています。絵本の読み聞かせや読書が好きな子どもが多く、図書室や教室で読書活動に親しむ学習も定期的に行っています。

(2) 取り組み内容と実態

今年度は、朝の読書の場面や、国語の学習での読み聞かせの場面、給食配膳の場面でマルチメディアDAISY図書を活用しました。使用した機材は、

ノートパソコンと、大型ディスプレイです。

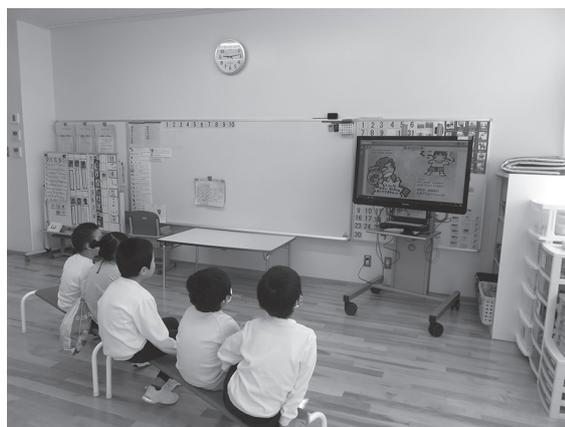


① 朝の時間に活用

登校後は、朝の身支度や課題に取り組みます。身支度や課題が終わった後、朝の会が始まるまでの間に「ほんのじかん」としてマルチメディアDAISY図書を使用した読み聞かせの読書活動を行いました。読み聞かせの時間は、5～10分以内の短いものにしました。タイトルは、季節や、その日の天気、学習内容に合わせて教員が選びました。

身支度と課題が終わると、自分の椅子を持って大型ディスプレイの前に子どもたちが集まってきます。いつもは

時間がかかってしまっていた身支度も、読み聞かせが楽しみですばやく終わられる様子もみられました。読み聞かせ中は、一緒になって声に出して読んだり、じっとお話の世界に浸ったりと、子どもたちはそれぞれの楽しみ方で読書を楽しんでいました。教員は、見守りに徹しました。



朝の登校後は気持ちの切り替えがむずかしく、落ち着きがない子どももいます。朝の読書を行ってみると、単に読み聞かせを楽しむだけでなく、一日の学習の始まりに向けて気持ちを落ち着かせる効果があったことは発見でした。

②授業での読み聞かせの場面での活用

国語の授業では、学習の導入として絵本の読み聞かせを行っています。その場面でマルチメディアDAISY図書を活用しました。

通常のサイズの絵本では小さく、集団の読み聞かせにはあまり向かない場

合もあります。学校の図書室にある大型絵本に蔵書数も限られています。大型ディスプレイを使用することで、集団での読み聞かせを効果的に行うことができました。また、劇団の方が朗読をしてくださっているということもあり、子どもたちもお話の世界に引き込まれるようでした。

いつもは読み聞かせをして子どもの前に立っている教員も、マルチメディアDAISY図書を使用すると、読み聞かせの間も子どもたちのそばにすることができるので、支援の必要な子どもに適切な指導をしながら取り組むこともできました。

さらに、マルチメディアDAISY図書は、紙の書籍に比べて消毒しやすく、音声読み上げ機能のため、飛沫の可能性もないという特徴があります。新型コロナウイルス感染症対策のため、消毒の徹底や、マスクの着用が必要であったり、大きな声での読み聞かせを避けなければならなかったりという、新しい指導様式に対しても有効に活用できると実感しました。

③給食配膳の場面での活用

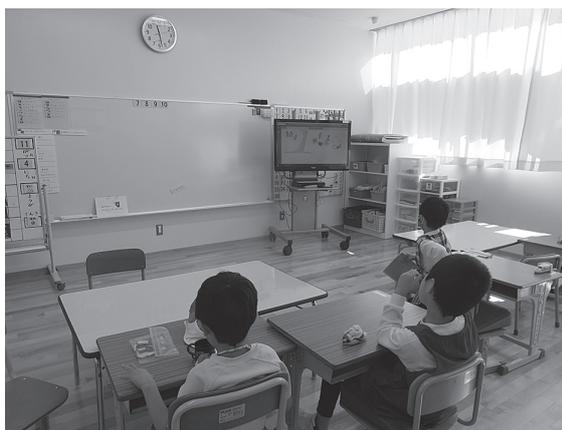
これまで、子どもたちと一緒にいていた給食の配膳は、今年度より新型コロナウイルス感染症対策のため、教員が行うことになりました。教員が給食の配膳を行っている間の時間を活用

して、マルチメディアDAISY図書での読書活動を行いました。

給食を配膳しているため、衛生面などから着席して静かに取り組める活動でなければいけませんでした。その点においてマルチメディアDAISY図書での読書活動は有効でした。

また、子どもによっては、読み上げ機能に合わせて一緒につぶやきながら追い読みをしたり、ハイライト機能に合わせて拾い読みをしたりと、能動的に読書に取り組む姿も見られるようになりました。タイトルは教員が選びました。食べ物に関するものや、その日の給食の献立に関するものを積極的に選ぶようにしました。

読書活動をしながら落ち着いて給食の配膳を待つことはもちろん、給食や食事に関しての興味や関心、見通しへつなげることもできたようです。



おわりに

今回は、小学部2年生の学級での活用実践例を紹介させていただきました。本校では、マルチメディアDAISY図書の導入は始まったばかりです。環境整備と共に、使用方法や活用法の紹介を積極的に行っていき、活用の拡大を目指していきたいと思います。それと同時に、マルチメディアDAISY図書を導入している特別支援学校や公共施設、デイサービスなどでの活用実践から、新しい活用方法を模索していくことも引き続き取り組んでいきたいです。

紙媒体の書籍のよさ、電子書籍のよさはそれぞれにあります。どちらが優れているということは無く、場面や実態に合わせてさまざまな読書形態が選択できることが必要と考えます。その選択肢の一つとして、マルチメディアDAISY図書が活用されていくことを期待しています。